

第 20 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 小林宏寿 (帝京大学医学部附属溝口病院外科)

日時 第 94 回大腸癌研究会・2020 年 1 月 21 日(木) 10 時 45 分～11 時 45 分開催

場所 会場：浜松町コンベンションホール 大会議室 B + Web

参加者 赤木, 藤田, 福田 (久留米), 前田, 佐藤 (藤田), 板橋 (女子医), 長谷, 梶原, 白石 (防衛), 小森 (愛知がん), 室野 (東大), 鏡 (東邦大森), 小山 (奈良), 石田 (埼玉医大医療セ), 川崎 (ベルランド), 端山 (帝京), 山内 (医科歯科), 志田 (東大医科研), 小澤, 坂本 (栃木がん), 清松 (国際医療セ), 能浦 (市立豊中), 五井 (福井), 西村 (聖マリ東横), 宮本 (熊本), 安井 (大阪がん), 高橋 (駒込), 固武 (佐野市民), 小林 (帝京溝口).

オブザーバー：なし

順不同・敬称略

会に先立ち、固武委員長より前回大腸癌研究会にて固武委員長が名誉会員になられたことから委員長を退任され、事務局を務めていた小林に引き継ぐ旨のご挨拶があった。

議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・前回議事録が承認された。

議題 2 腹膜播種の prospective study (観察研究) の進捗状況

- ・今後の発表・論文化について

予後情報なし

1) ベルランド (登録数 1 位) : PCI と日本の大腸癌腹膜播種分類ならびに原発巣占拠部位との相関

→Kawasaki M et al. J Anus Rectum Colon4(4);157-164, 2020

2) 国がん (登録数 2 位) : R0 切除を行い得る症例はどのような症例か

→Shida D et al. Int J Clin Oncol 25(2); 330-337, 2020

予後情報あり

3) 事務局:PCI と日本の播種分類との予後分別能(新しい分類と Grading の提示) に関する主論文

4) 防衛医大 (登録数 4 位) : 腹膜播種症例の予後規定因子解析と Nomogram による予後予測

5) 藤田医科 (登録数第 5 位) : 化学療法と播種症例の予後

予後集積が完了し、各施設で分析を進めることが確認された。

3), 4) につき小林委員, 白石先生 (上野委員代理) より報告。また, 予後情報を含めて 1) につき川崎委員より報告。

議題 3 腹腔洗浄細胞診の prospective study (観察研究) について

1875 例が集積され, 各施設の登録数が確認された。また, 2022 年 12 月で予後追跡が終了し, 2023 年 1 月には予後情報の集積を行う旨の周知があった。

予後情報なし

- 1) 藤田医科 (登録 1 位) : 腹腔洗浄細胞診陽性に関連する因子の検討
- 2) ベルランド (登録 3 位) : 陰性→陽性に転じた症例に相関する因子の検討
- 3) 愛知がんセンター (登録 5 位) : 施設別細胞診陽性率の差に関する検討

予後情報あり

- 4) 事務局 : 細胞診の結果と再発・予後の検討
 - 5) 防衛医大 (登録 4 位) : 腹膜播種再発の予測モデルに関する解析 (Nomogram もしくは Classification And Regression Tree を用いて)
- 1) について佐藤委員より論文内容の報告。投稿を進めることを確認した。

議題 4 腹膜播種の retrospective study (症例集積研究) の集計解析結果について

・積極的な利活用を各委員に依頼した。

腹膜播種の前向き研究については, 予後情報を加味し各施設で解析を進めていただき, 現在予定されている 3) ~5) 以外に論文化の希望があれば検討していくことが確認された。また, 論文化の希望が寄せられない場合, 登録数が多い施設に順に尋ねていくことも考慮することとなった。

(文責 : 小林宏寿)